

淡江大學 1 1 1 學年度第 1 學期課程教學計畫表

課程名稱	應用自然語言處理（一）	授課 教師	落合由治 OCHIAI YUJI
	APPLIED NATURAL LANGUAGE PROCESSING(I)		
開課系級	日文二碩士班 A	開課 資料	實體課程 選修 單學期 2學分
	TFJXM2A		
課程與SDGs 關聯性	SDG4 優質教育 SDG9 產業創新與基礎設施 SDG17 夥伴關係		
系（所）教育目標			
本系碩士班之教育目標在於培育具備以下能力之日語人才：			
1. 培養具備良好日語表達能力之人才。			
2. 培養日本文學相關領域之研究人才。			
3. 培養日本語學、日語教育相關領域之研究人才。			
4. 培養日本文化相關領域之研究人才。			
5. 培養具有國際觀及獨立思考之人才。			
本課程對應院、系(所)核心能力之項目與比重			
A. 具備高階日語語言能力（含聽、說、讀、寫、譯）。(比重：5.00)			
B. 具備深入理解日本文學之專業知識。(比重：5.00)			
C. 具備深入理解日本語學、日語教育之專業知識。(比重：10.00)			
D. 具備深入理解日本文化之專業知識。(比重：5.00)			
E. 具備使用工具書蒐集資料、以及專業書面與口頭報告之能力。(比重：20.00)			
F. 具備專業學術論文寫作之能力。(比重：30.00)			
G. 具備專業翻譯就業之能力。(比重：5.00)			
H. 具備獨立及創新思考之能力。(比重：20.00)			
本課程對應校級基本素養之項目與比重			
1. 全球視野。(比重：10.00)			
2. 資訊運用。(比重：30.00)			
3. 洞悉未來。(比重：10.00)			
4. 品德倫理。(比重：10.00)			
5. 獨立思考。(比重：20.00)			
6. 樂活健康。(比重：5.00)			
7. 團隊合作。(比重：10.00)			

8. 美學涵養。(比重：5.00)

課程簡介	1.了解目前流行文學批評理論、文化記號論等與文學作品讀解實踐於個案之沿用 2.研究日語文章結構、篇章語言學與言談語言學之方法。課程中亦將研究探究日語之篇章與談話結構及規則。 3.從媒體、文化、翻譯等世界文化論觀點來看、分析文學、媒體、評論作品等語言及多元表現。 4.利用AI技術、練習分析語言資料。 5.每箇學生發表自己的研究觀點、討論、結束前必須繳交報告。
	1. Understand the current popular literary criticism theory, cultural theory, etc. 2. Study the structure of Japanese essays, text linguistics and linguistic linguistics. The course will also explore the structure and rules of Japanese text and talks. 3. From the perspectives of world culture such as media, culture, and translation, analyze the language and pluralistic performances of literature, media, and review works. 4. Analyze language data using AI techniques. 5. Students must submit their own research opinions, discussions, and reports before they are finished.

本課程教學目標與認知、情意、技能目標之對應

將課程教學目標分別對應「認知(Cognitive)」、「情意(Affective)」與「技能(Psychomotor)」的各目標類型。

- 一、認知(Cognitive)：著重在該科目的事實、概念、程序、後設認知等各類知識之學習。
- 二、情意(Affective)：著重在該科目的興趣、倫理、態度、信念、價值觀等之學習。
- 三、技能(Psychomotor)：著重在該科目的肢體動作或技術操作之學習。

序號	教學目標(中文)	教學目標(英文)
1	1.了解日語文章結構、篇章語言學與言談語言學之現況與研究方法。	1.This class focuses on learning the methods of researching in text structure, text linguistics and discourse study of Japanese.
2	2.自己了解日語文章結構及合乎邏輯之推論方法、規則。	2.Through this class, students will learn the basic abilities to study a text structure, including organizing, collecting and analyzing data, expressing critical thinking and drawing a conclusion.

教學目標之目標類型、核心能力、基本素養教學方法與評量方式

序號	目標類型	院、系(所)核心能力	校級基本素養	教學方法	評量方式
1	認知	ABCDEFGH	12345678	講述、討論、發表、實作	測驗、作業、討論(含課堂、線上)、實作、報告(含口頭、書面)、活動參與
2	技能	ABCDEFGH	12345678	講述、討論、發表、實作	測驗、作業、討論(含課堂、線上)、實作、報告(含口頭、書面)

授 課 進 度 表			
週次	日 期起訖	内 容 (Subject/Topics)	備 註
1	111/09/05~ 111/09/11	日本姉妹校大學學術交流或介紹人文社会系研究方法	
2	111/09/12~ 111/09/18	介紹分物語分析方法・介紹文篇論分析方法	
3	111/09/19~ 111/09/25	介紹記号論篇章論表現論研究法	
4	111/09/26~ 111/10/02	介紹批評理論、文化理論研究法	
5	111/10/03~ 111/10/09	介紹媒體研究方法	
6	111/10/10~ 111/10/16	研討作品分析1 (利用AI及分析軟體、練習語言文本探勘)	
7	111/10/17~ 111/10/23	研討作品分析2 (利用AI及分析軟體、練習語言文本探勘)	
8	111/10/24~ 111/10/30	練習作品分析1 (學生發表與討論)	
9	111/10/31~ 111/11/06	練習作品分析2 (學生發表與討論)	
10	111/11/07~ 111/11/13	參加碩士論文構想發表・中間發表	
11	111/11/14~ 111/11/20	練習作品分析3 (學生發表與討論)	
12	111/11/21~ 111/11/27	練習作品分析4 (學生發表與討論)	
13	111/11/28~ 111/12/04	練習寫法報告 (はじめに、構成、記号、引用)	
14	111/12/05~ 111/12/11	練習寫法報告 (本論、図表、データ整理)	
15	111/12/12~ 111/12/18	實習作品分析1	
16	111/12/19~ 111/12/25	實習作品分析2	
17	111/12/26~ 112/01/01	實習作品分析3	
18	112/01/02~ 112/01/08	自由討論日 (討論期末報告内容)	

修課應注意事項	1.日本語力養成のために授業では日本語による質疑、討論、および研究発表（一人最低1回＝平時評量30％）、期末のレポート作成（60％）を行います。 2.日本語の言語作品やマルチモーダル作品を多面的に読解したり、あるいは、様々な研究法で分析することで、作品特徴を整理し、規則性や価値を見出すのが授業の目的です。これは日本文学、日本語学関係の修士論文を書く基礎力になります。 3.受講者の人数によって発表回数を決めます。論文等を読む時間がないときは、知識の部分は示した資料により各自で図書館を利用して補強するようにしてください。 4.今学期は、テキストマイニングの主な市場のひとつ、マーケティング関係の理論を学び、テキストマイニングを応用して、市場の動向を調査します。どの市場を対象にするか自由に選んで、分析理論やテキストマイニングの方法を使って、分析をおこなって発表と討論をおこないます。 5.決めたテキスト（文字だけ、文字＋動画）について、よく用いられる表現形式に注目しながら作品構成あるいは作品内での表現形式のはたらきについて考察します。また、批評理論、文学研究法、メディア研究法などの研究法を応用して、受講した学生の皆さんに自分の分析を発表してもらい、皆で討論します。 6.先輩で2年生の構想発表時に研究計画書が十分に書けない例が目立ちます。こうした場合は修了できないので、1年生のうちにレポートの書式と計画書の書式を必ず教科書等で確認し、書けるように練習しておいてください。 7.最近、先輩で「何をすればいいかわかりません、先生、答えを教えてください」という人が増えてきました。これでは修士論文は完成できません。自分で目標を決め、一定の方法で、対象を分析して答えを出すのが、修士の能力です。知識を思えることが基本の入試や学部の勉強よりも、大学院の勉強は質が一步あがります。以前の勉強法を捨てて新しい方法を見に付けるように練習してください。 8.分析の理論と同時に、テキストマイニング（文本探勘）の基本的方法を練習します。数式、プログラミングは必要ありません。すでにあるプログラムを使います。使い方と結果の読み方が大切なので、その点を中心に練習します。プログラムを使って出た結果をどう解釈して、有意義な情報を見出すかを練習しましょう。 9.今学期は、MathLabのテキストマイニングツールとKHCoderを使います。
教學設備	電腦、投影機、其它(DVD放映機)
教科書與教材	曾秋桂・落合由治（2010）『我的第一堂日文專題寫作課』瑞蘭國際（レポートの書き方の手本） 曾秋桂・落合由治（2011）『我的進階日文專題寫作課』瑞蘭國際（レポートの書き方の手本） 村上春樹『村上春樹全作品』一期、二期、新潮社 山田奨治編著（2017）『マンガ・アニメで論文・レポートを書く』ミネルヴァ書房 山内長承（2018）『Pythonによるテキストマイニング入門』オーム社
參考文獻	泉子・K・メイナード（1997）『談話分析の可能性』くろしお出版 橋内武（1999）『ディスコース』くろしお出版 泉子・K・メイナード（2004）『談話言語学』くろしお出版 佐久間まゆみ編（2003）『朝倉日本語講座7文章・談話』 村上春樹関係、文学研究書 廣野由美子（2005）『批評理論入門』中公新書 丹治愛編（2003）『批評理論』講談社選書
批改作業篇數	2 篇（本欄位僅適用於所授課程需批改作業之課程教師填寫）
學期成績計算方式	◆出席率： 10.0 % ◆平時評量：40.0 % ◆期中評量： % ◆期末評量： % ◆其他〈提出期末報告〉：50.0 %
備考	「教學計畫表管理系統」網址：https://info.ais.tku.edu.tw/csp 或由教務處首頁→教務資訊「教學計畫表管理系統」進入。 ※不法影印是違法的行為。請使用正版教科書，勿不法影印他人著作，以免觸法。